



小原正子さん&マック鈴木さんご夫婦  
スペシャル対談

丹波篠山  
“お試し移住”体験レポート

# ひょうごで暮らす、 ワケ その理由は？

先輩移住家族インタビュー





お笑いタレント「クワバタオハラ」

元メジャーリーガー

## 小原正子さん & マック鈴木さんご夫婦

スペシャル対談

# 子育てするなら、やっぱり神戸！ 私たちが移住を決断した理由

ともに神戸生まれ、神戸育ちで同い年の小原正子さんとマック鈴木さん夫妻。  
マックさんの地元、神戸市須磨区でリノベーションした一軒家に、3人の子どもたちと暮らしています。  
仕事も家族も大切にしたい2人が選んだ「ひょうご暮らし」。  
にぎやかな暮らしぶりの中にひょうごに住みたい理由が、たくさん詰まっていました。



おはら・まさこ●1975年兵庫県神戸市生まれ。お笑いコンビ・クワバタオハラで活躍。現在は関西を拠点にテレビ、ラジオに出演。ブログやYouTubeで神戸・須磨での子育てや日々の暮らしを発信中。

まっく・すずき●1975年兵庫県神戸市生まれ。16歳で渡米し、96年にメジャーデビュー。現在は野球解説者やスポーツ専門学校講師として活動中。17年「イクメンオブザイヤー」を受賞。



対談動画はコチラ



小原正子ブログ  
「女前」



YouTubeチャンネル  
「おはらちゃんねる」



マック鈴木ブログ  
「まっくすてっぶじゃんぶ」



YouTubeチャンネル  
「マック鈴木チャンネル」

## 東京と兵庫の“遠距離”婚を経て 子育てのため神戸移住を決心

**小原正子さん(以下小原)** 14年に結婚して、はじめはマックさんが神戸、私が東京で遠距離結婚をしていたけど、すぐに子どもを授かって。どちらかに決めないと、となった時、やっぱり神戸!と思ったでしょ?

**マック鈴木さん(以下マック)** そうだね。生まれ育った須磨はいい思い出ばかりだし、大好きだったから。初めて親になる時、須磨ならちゃんと子育てできるって確信があった。お互いの親も健在だから何かあった時も頼れるしね。僕自身、海外で長く暮らしたからこそ故郷の良さを再確認できたんだ。

**小原** 須磨の海にも特別な思いがあるって話していたよね。

**マック** そう。サンタモニカとか雄大な海もたくさん行ったけど、淡路島と和歌山、大阪湾が見える須磨の海が僕にとっては一番。

**小原** そんなマックさんの地元を愛する気持ちをよく知っていたし、私も仕事をセーブしてでも故郷の兵庫に戻って子育てする方がいいな、と母親として決断したのよね。

## 利便性と自然に恵まれた土地で 理想のライフスタイルを実現

**小原** 家族でここに暮らしてみたら、良いことばかり。まずモノが安い(笑)。例えば子どもたちが大きくなることも考えて、十分な広さのある一軒家に住み替えたいと思った時、東京だったら都心から遠く離れてしまうけど、兵庫なら便利な場所で自分たちの理想のライフスタイルを実現できたよね。

**マック** 確かにそうだね。都市部にも、海にも山にもすぐに行ける。東京へのアクセスもいいから仕事にも便利。

**小原** ちょっと歩けば自然がいっぱいだから子どもたちもびのび遊んでる。最近のコロナ禍では本当に助かったわ!



(左上) 家族で明石の公園へお出かけ(左下) じいじに教わった将棋で親子対決(右) 兄弟で海釣りを初体験

**マック** 小さい時に自然にたくさん触れることって大事だと思うから、山に登ったり海でキャンプしたり、僕が父から教えてもらった外遊びを子どもたちに伝えていきたいな。

**小原** 相方のくわばたさんが東京から子連れで遊びに来た時、彼女の子どもたちが大喜びで「私もこんな環境で子育てしたい!」って感動した。故郷じゃなくても大好きになる場所なのかもね。

## 四季折々の新鮮な食材で食育も 2025年大阪・関西万博も楽しみ

**小原** 食べ物おいしいのも兵庫の魅力。野菜もお肉も新鮮で素材そのものがいいから、手の込んだことをしなくてもサッと調理するだけで十分おいしい。忙しい主婦には助かります(笑)。庭でバーベキュー

すると子どもたちもよく食べるし。

**マック** 本当にそうだね。淡路の玉ねぎに、朝引きの鶏肉、冬は3年とらふぐ、城崎のカニ。季節の旬の食材が豊富に手に入るから、子どもたちの食育にもなっているね。

**小原** 子どもたちにはこれから、いろんなことを体験させてあげたいな。2025年大阪・関西万博もすごく楽しみ! まだ小さいからこそ一緒に楽しめるし、特別なイベントだから大人になっても覚えてくれていると思うのよね。

**マック** 僕たちみたいに兵庫で育って一度は旅立っても、いつか戻って兵庫に何か恩返しできる大人になってほしいな。

**小原** 私は老後も楽しみだな。兵庫は年を重ねても住みよい場所だと思うから。自分たちらしく心豊かに暮らせるのがベストよね!



神戸空港から直行便で宮古島へ



地元で新鮮な海の幸を堪能



須磨海岸でシャボン玉飛ばそ!



地域の神社でお餅つき



魅力あふれる

# 五国からなる ひょうご



日本列島のほぼ中央に位置する兵庫県。北は日本海、南は瀬戸内海に面し、淡路島を介して太平洋を望む広大な県土には、大都市から自然豊かな田園地域まで個性豊かな地域が広がっています。

兵庫県は、摂津（神戸・阪神）・播磨・但馬・丹波・淡路という歴史や文化も異なる五つの国が合わさって一つになっています。世界有数の企業、学術・教育機関の集積地や観光地も有し、風土を活かした食や特産品、レジャーなど、多彩な魅力がギュッと詰まっています。

兵庫なら、きっと望む暮らし方、働き方ができる。子どもものびのびと成長できる。ぜひあなたの夢を“ひょうご”でかなえてみませんか？

人口 **542万人** (2022年4月1日現在)

面積 **8,401 km<sup>2</sup>** (2021年10月1日現在)

**気候** 県域が広いので、気候は変化に富んでいます。大きくは四季を通じて比較的温暖で降水量が少ない瀬戸内気候、冬季は雪が降る日本海側気候、昼夜で気温差が大きい内陸性の気候に分類されます。

## 交通アクセス

東京からは羽田空港から神戸空港まで約1時間15分、新幹線では東京駅から新神戸駅までのぞみで約2時間半とアクセスも良好です。

夏は海水浴、冬はスキーができてレジャー好きにはたまらないよ



# 但馬

TAJIMA

多くの山々と日本海に面し、自然に囲まれたエリアです。城崎や湯村など温泉地としても有名で、但馬牛や松葉ガニは兵庫を代表する特産品です。

P08 先輩移住家族インタビュー



瀬戸内エリアならではの温暖な気候も人気の理由だよ



# 播磨

HARIMA

姫路城をはじめ、歴史的なスポットが豊富な地域です。瀬戸内海の海の幸、伝統ある地場産業や臨海地域の工業に加え農業も盛んです。

P09 地場産業で活躍する方たち  
P11 山城に魅せられ山城ガイドへ



自然豊かな地域に住みながら  
都市部にもすぐ行けて  
いいところ取りだよ



# 丹波

TAMBA

農業が盛んで自然豊かな一方、神戸・大阪・京都からの距離が近く、移住に人気のエリアです。マツタケ・クリ・黒大豆の産地として全国的に有名です。

P06-07 “お試し移住”体験レポート

神戸・阪神は便利さと自然のバランスが良く子育て世帯にも人気だよ

# 神戸・阪神

KOBE/HANSHIN



国際都市・神戸を中心に、利便性の高い街としてだけでなく、海山に囲まれた自然豊かな環境との調和がとれたエリアです。

P10 “トカイナカ”の魅力

淡路牛やお魚、  
玉ネギなどのお野菜も、  
どれも最高だよ

# 淡路

AWAJI

関西圏からの人気の観光地ですが、神戸方面へも通勤可能で近年は移住先としても人気のエリアです。年間を通じて温暖な気候を活かした農業が盛んです。

P08 先輩移住家族インタビュー  
P11 地産地消のレストラン



# “お試し移住” 体験しました!!



東京都在住

片山 弘基さん、真奈美さん、綾子ちゃん、遼一くん

東京都内に暮らす片山さんファミリーは、最近、夫の弘基さんがリモートワークが増えたこともあり、東京以外も選択肢として、子育てしやすい場所に家を構えることを考えています。夫の弘基さんが滋賀県、妻の真奈美さんが香川県出身で関西に親しみがあることもあり、今回、兵庫県の“お試し移住”（右下参照）プランを活用し、丹波篠山市を訪ねました。



都心からの  
移動がラク!

空気が澄んで  
気持ちがいい!

朝7時台に新幹線で東京を出発し、新大阪から特急こうのとりで約60分、11時すぎにはJR篠山口駅に到着。篠山口駅へは本数が多い快速でも大阪から約70分という利便さです。

## 「丹波篠山暮らし案内所」で

### 移住相談



片山さんファミリーは丹波篠山市の移住相談窓口を訪れました。空き家バンクの一覧の中から「中古一戸建て623万円」という物件を見つけて、「こんな値段で家を買えるの?」とびっくり。「古い家は修繕費がかかります。修繕費も含めれば1500万~2000万円が相場です」と担当者。移住者には、手ごろな値段で入居できる市営住宅も人気だそう。子育て世帯向けの「特定公共賃貸住宅」もあり、「似たような世代の子どもがいるので、ひとりぼっちになることはありませんよ」。子ども医療費助成などの子育て支援制度についての説明や、東京23区から兵庫県に移住して就業・起業すれば最大100万円が支給されるという移住支援金についての紹介も。「移住に現実味が増してきました」と弘基さん。

野菜が  
おいしい



「りょうり舎やまゆ」では、特産品「山の芋」を中心に地野菜や地鶏を使った料理を、丹波焼の器でいただきます。すりおろした山の芋をそのまま入れた味噌汁に、「お餅のよう」と驚く二人。子どもたちも、ばくばく食べていました。

築400年の古民家で  
地産地消を味わう



## 特産品がそろう

### 「JA丹波ささやま味土里館」

玄米を自宅で精米し、手もみ茶や味噌も手づくりするほど食への関心が高い片山さんファミリー。丹波篠山は昼夜の寒暖差が大きいためおいしい農産物ができると、10月にとれる黒枝豆がとびきりおいしいと店員さんに聞いて興味しんしん。



泊まるのは  
「いこいの宿 新たんば荘」



宿は、北欧の田舎のホテルを思わせる「新たんば荘」のログハウス。鳥の鳴き声だけが聞こえる静かな場所でゆっくりできます。冬場のぼたん鍋が有名で、地元の人でも宴会や日帰り入浴に利用しています。



移住体験型 家族向き  
丹波篠山市郡家451-4

歴史色づく  
旧宿場町を散策



丹波篠山の中心部から車で約20分。京都への旧街道が通る福住は移住者が多い地域です。訪れた日にも何人もの移住者の方と出会い、お話を聞くことができました。

芝居小屋だった建物で焙煎所とカフェを営むマグナムコーヒーの古荘利治さんは4年前に大阪から移住。いくつもの場所を見比べて、自然豊かな環境で子育てできて都会からも近い、と篠山に決めました。今はSNSが活用できるからお客さんの輪が各地に広がっているそうです。



3人の社員も移住者。コーヒーの器は地元の王地山焼

ジグザグブルーワリーの山取直樹さんは、Uターンで家業を継ぎながら、クラフトビールを製造。弘基さんが「移住者の受け入れに不安はありませんか」と尋ねると、「若い移住者が増えて、まちが元気になってきていますよ」と温かい返事。



初めて飲むセゾンビール

「移住者の方が、地域にとけ込んで暮らしを楽しんでおられました。手作りに興味があるのでクリエイターさんが多いのは親近感がありました」と真奈美さん。



お試し移住

“ひょうごで暮らす！”体験キャンペーン

県の所有する4施設で、2泊以上最長1カ月のお試し移住の体験期間中、経費の半額(上限10万円)を補助するキャンペーンを、2022年度も実施します。キャンペーン特設サイトは右のQRコードから。



ロッジ波賀の郷

ワーケーション体験型  
家族向き

宍粟市波賀町原  
560-1

調理家電・器具が備わったキッチンにリビング・ダイニング、寝室2部屋があるコテージ(10人定員)が2棟あります。



但馬長寿の郷

ワーケーション体験型  
団体向き

養父市八鹿町国木  
594-10

広いリビングとキッチンを備え、里山の豊かな自然に囲まれてゆっくりくつろげるロッジ(15人定員)が4棟あります。1棟当たり5室の寝室があります。



西はりま天台台宿泊ロッジ

ウイークデー滞在型  
家族向き

佐用郡佐用町西河内  
407-2

家族用ロッジ棟に、1室5人まで利用できる2LDK(寝室2部屋、リビング、キッチン、バス、トイレ)の部屋が6室あります。



地域でとれた酒米で丁寧に造られ、ほぼ地元で消費されるため、関東には出回っていない地酒「秀月」がとても気に入りました(弘基さん)

発見！お気に入り



東京で買っている物より、質が良い麴(こうじ)と大豆を見つけたので、今年はたくさん味噌をつくります。そば粉でそば打ちにも挑戦します(真奈美さん)



先輩ファミリーの店で

ゆったり食事



温かい味にほっこり！

大阪府吹田市から移住して丹波篠山にイタリア料理店「パトリア」を開いて7年になる井上さん夫妻。「保育園から高校まで徒歩圏内で、病院も近くにあります。渋滞や人ごみなど都会特有のストレスがない点も魅力」とし、ご近所との付き合い方が気になるという弘基さんに「ほどよい距離感で交流しつつ、過度な干渉はありません。すぐに仲良くなれます」と、住みやすさに太鼓判を押します。

移住体験を終えて

- お試し移住は妻主導で申し込んだのですが、行ってよかったです。住宅が良いし、子育て支援にも力を入れている。農業ボランティアもしてみたい。具体的に将来が見えた気がします(弘基さん)
- テレビで薪(まき)をくべて生活している人を見て、漠然と移住にあこがれていました。実際に来てみると、食べ物おいしいし、子育て家族が大事にされているし……本当に住みたくなりました(真奈美さん)



住んで  
わかった!  
ひょうごのえ〜とこ!

首都圏から移住して

“ひょうご暮らし”を満喫する2組の家族に、  
住んでみてわかった兵庫県の魅力を聞きました。

case①

埼玉や東京での生活を経て  
2015年に豊岡市竹野町に移住

石丸 佳佑さん・望さん家族



海沿いのゲストハウスで  
気ままで幸せな時間を

### 本に囲まれるんびりと

竹野浜海水浴場まで徒歩40秒。「本と寝床、ひととまる」は、「海沿いで宿をしたい」と願い、埼玉から移住した石丸さん夫妻が営むゲストハウスです。築60年の家屋を改修し、2階に客室、1階は本がずらり並ぶ図書スペースに。「竹野の夏は海水浴客でにぎわいますが、春や秋の海沿いの風情も格別。私が本好きなこともあり、本と共に過ごせるのんびりした時間を提供したかったです」と話す佳佑さん。

7年前、東京でのサラリーマン生活に別れを告げ、交際していた妻の望さんと移住。二人の子にも恵まれました。宿にはリピート客も多く「頑張った分だけ結果になるのがうれしい」とやりがいを見せてくれます。

### 移住希望者も宿泊

地方の魅力については「チャンスがたくさんあり、家賃の安さなど都会に比べ何かを始める際のハードルが低い。応援も注目してもらいやすいです」と指摘。自分も移住したいので相談に乗ってほしいと宿泊するお客さんもあるそうで、佳佑さんは「完璧な理想郷はありません。譲れる部分と譲れない部分を明確にすれば決断しやすいのでは」とアドバイスします。

移住してからの年月を振り返ると「うっすら幸せな状態が常に続いている」のだとか。「新鮮な魚はご近所さんにいただけるので買ったことはありません。私と妻が忙しい時には子どもの面倒も見てくれる。人の温かさが染みる毎日を積み重ねています」

### 妻の移住希望で転勤願

「旅行して気に入った淡路島への移住は、当時、体調が悪かった妻の希望でした。自然に近く、すぐに都会へ出られる。東京へも神戸空港から1時間。妻が1年ぐらいかけてネットで調べ、有楽町の移住プラザに足を運んだり、直接島を訪れたり、熱心に調べていました」と基吉さん。

妻の本気がわかった時、基吉さんは転勤を希望して神戸勤務に。「通勤は高速バスで三宮へ。よく利用するバス停で1時間に約3便あり、最終バスは夜11時台。必ず座れるし、京都や大阪から通う同僚に、自分達よりも遅くまでバスがあるし、結構便利なんだねと驚かれます」

バス停を降りて満天の星を見上げるたびに「移住してよかった」と思うそうです。

### 人の縁で広がる可能性

海に囲まれた島暮らしで妻は体がラクになり、子宝にも恵まれました。「あらゆるものが地産地消で、日常の食生活が驚くほど豊か」と妻の真理子さん。

「いずれ建てる家のために戸建てに住んでみよう」と当初暮らしたマンションから引っ越して1年。基吉さんは「人に魅力があるんです。仲良くなって地元の祭りみこしで神輿を担がせてもらったり、淡路の食を紹介するイベントを東京や神戸で開いたりしています」。

東京時代よりも家族との時間も増え「自分軸で生きられるようになった」と話す基吉さん。「迷ったら動いて、一度試しに住んでみては」と話しています。



case②

東京生まれ・育ちの夫婦が  
2016年春に淡路島に移住

時友 基吉さん・真理子さん家族



大好きな海へも徒歩5分  
自分軸で暮らしています



# ひょうごが誇る **地 場 産 業**



播磨地域には全国に誇る地場産業が根づいています。  
播州織、播州毛鉤、三木刃物の産地を訪ねました。

## 播州織



島田製織株式会社 田辺 絢子さん  
東京都出身。オリジナルアパレルブランド「hatsutoki」の企画・販売を担当。通信販売などWEBコンテンツの充実力を入れている。

### 上品で繊細 先染めの魅力を発信

糸を先に染め、染め上がった糸で柄を織る先染め織物で知られる播州織。自然な風合い、豊かな色彩、優しい肌触りに魅せられ、田辺絢子さんは2年前、西脇市に移住しました。「染めから織りまで、まち全体で分業していて、一軒ごとに高い技術を持っているのに驚きました。産地でしかわからない発見が多いです。糸1本から企画を立てられるので、デザイナーとしてとても勉強になっています」。移住が新型コロナの拡大時期と重なったものの、オンラインでのやり取りが一般的になった今、距離を感じず、むしろ働きやすくなったと感じるそう。「シンプルだけど上品で繊細。どこかにこだわりを感じられる服を作っていきたい」と意欲を燃やしています。

### 地域の中に新風 若手育成に熱意

伝統に培われた高い技術と優れた品質と性能で、全国的に評価される三木刃物。かな製所を営む魚住徹さんは大学卒業後、機械メーカーに勤務した経験を生かし、インターネット販売などに早くから取り組み、業績を伸ばしています。「今では30%以上が海外からの注文。ヨーロッパでは家具や楽器の製造に三木のかなが活躍しています」。かな作りで肝となる鍛造(たんそう)は、地金となる錬鉄を約1300°Cの火で熱し、ハンマーで叩いて板状に延ばす作業。目、耳、手の感触が勝負です。近年は若手従業員も積極的に受け入れ、技の伝授に力を注いでいます。「新しい物を取り入れ、地域を活性化しながら、町のブランドである金物を残したい」



三木刃物 常三郎 魚住 徹さん

1989年から鉋(かな)作りに取り組む。播州の自然に魅せられ、最近は登山を楽しむ。工場隣接の古式鍛錬場は「水戸黄門」のロケで使われたことも。



## 三木刃物



## 播州毛鉤

けばり

### 1センチ未満の美 伝統を残したい

西脇市黒田庄町で江戸時代から受け継がれる「播州毛鉤」。50年以上前から毛鉤を手掛ける横山禧一さんは「アユやヤマメなど釣る魚だけでなく、季節、時間帯、天候によっても毛鉤の色や形は変わります。全部で500種類以上もあるんですよ」と話します。1センチ足らずの鉤に数種類の鳥の羽根を絹糸で丁寧に巻きつけ、最後に漆玉を付けて金箔を貼ると、今にも飛びそうな水生昆虫そっくりの毛鉤の出来上がり。繊細さと美しさから1987年には国の伝統的工芸品に指定されましたが、今では製作できる伝統工芸士は5人に。「山あり、川ありの豊かな自然が町の魅力。暮らす人が増えて、伝統産業を何とか残していければうれしい」と期待しています。



横山金司郎商店

横山 禧一さん

伝統工芸士。1964年に毛鉤作りを始め、82年に父から商店を継承。地域交流イベントや小学校の出張授業にも積極的に出かけている。

# だから住みたい。

多彩な魅力がいっぱいの兵庫県。さらに各エリア



## 都会と田舎の 良いところり



### 海と山に囲まれた ちょうどいい都会

南に瀬戸内海、北は六甲山系の山並みが広がる神戸・阪神間は、兵庫県の中でも最も都会的な表情を持つエリア。関西でも海と山が近く、開放的でおしゃれな街として知られています。

日本を代表する国際貿易港を核に広がった神戸の街は、外国からの文化も様々に根付き、南京町や北野の異人館、旧居留地や海岸通など、異国情緒あふれる魅力的なスポットが点在しています。

一方、大阪の富裕な商人たちの別荘地として始まったのが阪神間の住宅地。独自の教育方針を掲げる多彩な私学文化も花開いています。

### 日常の中に自然がある “トカイナカ”

神戸・阪神エリアで“トカイナカ”として注目されているのは、神戸市西区と須磨区にまたがる西神ニュータウン、北区の淡河町、三田市のニュータウンなど。それ以外にも猪名川町や川西市など、同エリアには多くの美しい里山や田園風景が広がっています。平日は都市部で働きつつ週末は家庭菜園を楽しんだり、本格的な農業に携わる暮らしも夢ではありません。豊かな自然に囲まれた暮らしがかなう地域がたくさんあります。



六甲山からの神戸の景色

三宮から30分、  
日帰り観光も



有馬温泉の町並み



神戸の夜景



三田市の田園風景

### 京都や大阪へもすぐ！ 便利な“田舎暮らし”

“トカイナカ”の注目エリアからは、神戸市の中心部・三宮だけでなく、大阪、京都や奈良へのアクセスも良好です。

西神ニュータウンの中核、西神中央駅から三宮へは、市営地下鉄で30分。三宮から大阪へ

JR新快速で約20分、京都まで約50分という近さ。また、新三田駅から大阪まではJRで約45分。大阪で働く人たちもたくさん住むエリアです。

のんびり田舎暮らしを満喫しながら、思い立ったらすぐに都会や観光地に出かけられます。

### Topics 変わる三宮駅前とウォーターフロント

神戸・三宮では駅周辺の再開発が急ピッチで進行中。2021年春には、「神戸三宮阪急ビル」が建替えオープン。旧ビルのシンボルだった大きなアーチ窓などを継承したデザインで、地下2階～地上3階にオープンした商業施設「EKIZO(エキゾ)神戸三宮」では神戸らしい異国情緒あふれる飲食店が人気です。

これまで倉庫街だった神戸ベイエリアの新港突堤西地区に、ニューフェイスが誕生。昨年秋に開業した「神戸ポートミュージアム」は、劇場型アクアリウム「アトア」、フードホール、プライダルデスクを備えた複合文化施設。新たなにぎわいを生んでいます。

「神戸ポートミュージアム」の外観



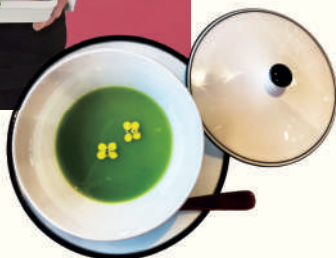
「アトア」を象徴する美しい「AQUA TERRA」

# 気になる この街

の「住みたい」理由を深掘りしてご紹介しましょう。



味自慢の地元野菜と岡野満シェフ



有精卵のフラン菜の花ソース

淡路  
AWAJI

海の幸・山の幸に恵まれた  
御食国

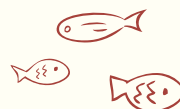
## 島内で食材が全部そろふ

淡路島の西海岸「のじまスコア」にあるイタリアンレストランの岡野満さんは、淡路島出身のシェフ。ヨーロッパやアジアのレストランで修業したのち「そろそろ地元で」と戻ってきた島で、淡路の豊富な食材の魅力を再確認したそうです。

「野菜も牛、豚、鶏も海産物も、島内でほとんどまかなえます。懇意な生産者さんから『こんな野菜ができた』、漁師さんから『今日はこんな魚が獲れた』と連絡が来て、いいなと思ったら持ってきてもらって料理に使う。食材中心にメニューを考えるので、毎日アレンジが変わります」

## ミネラル分豊富で味がいい

玉ネギや鯛、淡路牛などよく知られた食材のほかに、春はフ



淡路島へは世界最長の吊り橋、明石海峡大橋で



キノトウやタラの芽などの山菜、夏はハモ、秋は脂がのったサバ、タチウオなどの魚介、冬は根菜……。ジビエでは夏の鹿肉が美味という岡野さん。「四方を海に囲まれた淡路の野菜や果物は、ミネラル分が豊富。柑橘類も味が良いので、ソースにスイーツに大活躍します。その土地で地元の食材を食べるのが一番おいしいですよ」



島スイーツや島カフェ、島ぬーどるを使ったメニューが食べられる店を紹介するサイト

「御食国プロジェクト」はコチラ

播磨  
HARIMA

戦国の世の息吹を  
山城に感じて



「西播磨の山城」  
サイトはコチラ

## 山城ガイドで活躍中

西播磨には、山野を巧みに使って築かれた中世から江戸時代初期頃の山城遺構が多く存在し、石垣・堀切・堅堀などが見る者を圧倒します。こうした山城群を観光資源として、山城トレッキング、グルメ、伝統文化体験で綴る山城復活プロジェクトが進められています。

朝霧の名所として知られる佐用町平福の利神城(別称“雲突城”)に魅せられ、佐用山城ガイド協会で活動している阿比留憲司さん。「立派な石垣が今も残

る利神城は、佐用の宝」と誇らしげ。

## アウトドアの魅力を伝えたい

阿比留さんは、陸上自衛隊、ラフティング・キャニオニングのガイド、アウトドア用品の販売などに携わった後、地域おこし協力隊として2019年に大阪から家族4人で佐用町にやってきた。アウトドアの達人で趣味もサイクリング、キャンプ、川下りなど多種多彩、都会の大人や子どもたちに経験を活かしたイベントを開くほか、今春、古民家でア



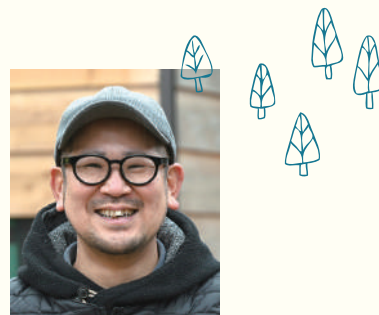
山城ガイドのワンショット



アウトドアガイド中のスナップ写真

ウトドア体験のできる民泊をスタートさせようとしています。

「コロナ禍で制約も多いですが、新しい価値観や生き方に触れる機会になれば、自然の中で子育てする私の経験も伝えていきたい」と少年の笑顔で語ってくれました。



アウトドアの達人、阿比留さん



# ひょうごで働いて 暮らしていくってアリかも？

兵庫県には、全国に誇る多数の名門大学があります。県内の大学に通う若者たちは、何を学び、どんな将来像を描いているのでしょうか？ 大学生4人に兵庫でおくる学生生活や、街の魅力、将来の夢について語ってもらいました。

(学年は取材時のものです)

## 地域と関わって 一緒にひょうごを盛り上げる！

**池上** 大学では観光を学んでいます。基本的に対面授業で、座学と実習を交互におこなっています。実習では但馬全域の大切な交通手段である全但バスにお世話になりました。地元や観光客にとって良いバス運営について考える実習はとても有意義でした。

**春木** 下宿する三田市で実店舗を借りて塾を開き、今は7人の仲間と一緒に運営しています。「かわいそう」と言われることの多いオンライン世代だけど、時間や場所に縛られないから生活に合わせて学べるし、交友関係を築きにくい中で出会えた友人は大きな財産ですね。

**和田** 大学はほぼ対面授業で、現場で働くことを見据えた専門性の高い授業を受けています。官学連携で大学のある神戸市長田区を盛り上げようという「新長田サポータークラブ」の活動に取り組んでいて、地域のイベントに参加して交流するのが楽しいです。

**札幌** コロナ禍においての授業は

オンラインです。淡路島で「淡路ラボ」という共創プラットフォームの長期インターンシップに参加し、推進事務局の一員として活動中です。大学に行く機会が少ない代わりにインターン先で全国各地の学生と知り合えました。

## 大学には新しいことに 挑戦できる環境がある！

**札幌** 神戸大学は見晴らしのいい山の上であり、伝統を大切に受け継いできた風格ある大学。一方で、オンライン授業も普及し、課外活動に理解のある先生方がおられるので本当にやりたいことができる環境がありますね。

**池上** うちが2021年新設の県立大学で、全国から集まった学生は失敗を恐れず挑戦する強さを持った人が多いです。いつも同級生からいい刺激をもらっています。校舎は真新しくきれい。図書館では地元の高校生が自習する姿も見かけます。地域に開かれたオープンな雰囲気も大好きです。

**春木** 私が入学して驚いたのは周り



の多くの学生が海外生活を経験していたり、関心のある社会問題に自ら取り組んでいること。精神性と品格を重んじ、個々の考えや多様性を認め合う学風ならではの環境が大事だと思っているので、関学だから新しいことに挑戦できたのかなと思っています。

**和田** 常盤は医療や教育分野の専門的な授業はもちろん、独自の教育目標「ときわコンピテンシー」に基づいて人間性を養うための授業も充実しており、授業や課外活動を通して、人としてもステップアップできる環境があります。



関西学院大学 総合政策学部  
メディア情報学科 2年生

春木俊明さん

静岡県出身。1年生のときに起業。三田市で中高生対象の学習塾を経営する株式会社Upsee代表取締役。



芸術文化観光専門職大学  
芸術文化・観光学部  
芸術文化・観光学科 1年生

池上くるみさん

鳥根県出身。寮生。城崎温泉の旅館でアルバイト中。地元住民との交流を楽しみながら接客や観光業を学ぶ。



神戸常盤大学 保健科学部  
医療検査学科 1年生

和田陽さん

大阪府出身。自宅から通学。地域の魅力を発信する新長田サポータークラブの活動やフットサルを楽しむ。



神戸大学 経営学部  
経営学科 2年生

札幌遥登さん

北海道出身。淡路島で未来の仕事づくりにつながるプロジェクトを創出するプラットフォーム「淡路ラボ」に参加。

## 海に山に美味しいグルメ お気に入りがいっぱい!

**和田** キャンパスが神戸なので、授業終わりや空きコマの時間に友人たちとカフェや須磨によく出かけます。お気に入りはハーバーランド。大阪の実家は海のない町なので、海が目の前に広がる広場はゆったりした気分になれます。皆さんはお気に入りの場所ってありますか?

**札幌** 近所の漁港。その日釣ってきたばかりのお魚を地元の女性がさばいて、タイ、太刀魚、アナゴなどを良心的な価格で直接買うことができます。食べ方を教えてくれたり、おまけをしてくれたり、やさしくてとても好きな場所。あとは淡路島モンキーセンター。山と直結していて野生のサルが下りてくる!

**春木** 大学の最寄り駅の新三田から徒歩で行ける有馬富士公園かな。三田の美しい自然を凝縮したような場所で、公園内の池では逆さ富士の光景も見られます。開放感いっぱい癒やされますよ。駅周辺のグルメも開拓中。おいしい店を見つけて友人を連れて行くのが楽しみ。

**札幌** グルメで言うとう六甲道にある



## 自然と都市が共存する ひょうごは第二の故郷!

「ボクのふらいばん」という洋食店。豪華でボリューム満点のハヤシライスがおすすめです。いつか丹波篠山にある、河原町妻入商家群に行ってみたい。昔の家をそのまま利用した居心地のよさそうなおしゃれなカフェが気になってます。

**池上** 豊岡市は「弁当忘れても傘忘れるな」という言葉があるほど空模様がコロコロ変わるので、雨雪をしのぎながらゆっくりできる喫茶店はよく行きます(笑)。あと何と言っても城崎温泉街。カニや但馬牛など地元のグルメやお店も充実していて、老若男女問わず楽しめます。特に雪の舞う季節の外湯めぐりがおすすめ!そして竹野海岸。海が透き通っていて本当にきれい。友人と早朝に出かけて海岸で朝日を浴びながら軽食を食べたのはいい思い出です。これからゆっくり行ってみたいのは新温泉町の湯村温泉かな。こぢんまりしていて城崎とは違う魅力があります。

**春木** 兵庫は温泉がたくさんあるのもいいですね。私も有名な有馬温泉に一度行ってみたいと思っています。期待がいっぱいです。

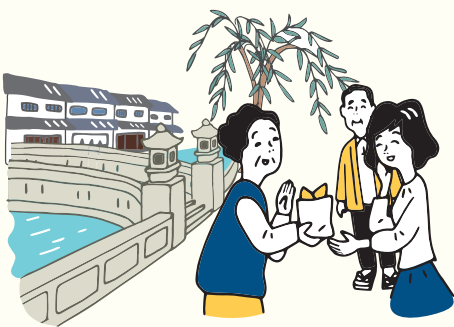
**和田** 私は長田のお好み焼屋さんとか、大学がある長田区の地元のグルメをもっと発掘したいし、神戸のおいしいパン屋さんを制覇したいな!六甲山の頂上にも登ってみたいです。

**池上** 進路は未定ですが、兵庫で就職するのもいいなと思っています。学校の取り組みの中で地域のさまざまな人との交流があり、そこで皆さんの地元を愛する気持ちや、地元のために働く姿を見てきたからです。そんな人に困まれて仕事できたら自分もいきいきできそうだなと思います。

**春木** この先10年ほどは兵庫県で暮らしていくつもりです。会社も立ち上げ、せっかくだいだいご縁もあり、兵庫を中心に営業活動をしていきたい。兵庫県はどの町も生活水準が高く、生活していくための環境は整っていますよね。

**和田** 県内の病院は就職先として人気があり、卒業生の先輩も多く働いていると聞くので、県内の病院への就職も候補の一つとして考えています。海と山が身近にあって、実家の大阪にも近い。一人暮らしのハードルも低く感じます。自然と都市が共存している兵庫県はとても魅力的です。

**札幌** 私は、就職したい企業があれば兵庫で暮らすという選択も大いに考えられます。淡路島は第二の故郷なので、もし、県外で就職したとしても定期的に帰ってきたり、仕事でつながっていききたいですね。



就活  
お役立ち  
サイト

### ひょうごで働こう! マッチングサイト

スマホから、希望条件に応じた企業検索、スカウト通知受信ができます。また、東京圏からの移住者には最大100万円の移住支援が支給されます。

<https://www.letswork-hyogo.jp/>



android



ios

## ひょうごへ移住をお考えの方はコチラ！

### ひょうご移住プラザ

東京・有楽町の東京交通会館8階の「ひょうご移住プラザ」には、移住相談員と就労相談員が常駐。兵庫県への移住や仕事に関する相談をワンストップで実施しています。



営業時間 10:00~18:00(火~日) ※月・祝休み  
 東京都千代田区有楽町2-10-1東京交通会館8階  
**移住相談** [TEL] 070-2646-9028  
**就労相談** [TEL] 070-4000-1713  
 [mail] hyogo@furusatokaiki.net

### カムバックひょうごセンター

関西圏を中心とした西日本在住の方からの移住相談に、移住相談員が総合的に対応します。また、定期的には大阪サテライトで移住相談会を実施しています。お気軽にお問い合わせください。



営業時間 10:00~18:30(月~金) / 10:00~17:30(土) ※日・祝休み  
 神戸市中央区東川崎町1-1-3神戸クリスタルタワー6階  
 [TEL] 078-360-9971 [mail] hyogo\_comeback@pref.hyogo.lg.jp



#### 大阪サテライト

大阪市中央区本町橋2-31大阪ふるさと暮らし情報センター(シティプラザ大阪1階)内

兵庫の移住・暮らしに役立つ  
ポータルサイト



兵庫県が運営する移住ポータルサイト「夢かなうひょうご」では、仕事や空き家、移住イベントなど、兵庫県の移住に関する情報を集めることができます！



サイトはコチラの  
QRコードから

## ひょうごとつながりを持ちたい方へ！

### 〔ひょうごe-県民制度〕

全国の都道府県で初めて、兵庫県にゆかりのある人たちの「ひょうごへの想い」を地域づくりにつなげようと2019年にスタートした〔ひょうごe-県民制度〕。出身者だけでなく、離れていても「兵庫がちょっとなつかしい」「兵庫をちょっと知りたい」人たちの注目を集めています。



アプリのご利用には  
ひょうごe-県民制度へのご登録が必要になります。

ダウンロードはQRコードから



[ios]



[android]

兵庫が気になったら  
「e-県民」に気軽に登録

アプリで地域の情報を身近に

実際に訪れる

今度の週末、  
兵庫に  
行こうかな？

元気なまちづくりが  
進んでるらしい

今頃あの街、  
どんなかな？

兵庫のうまいもん、  
気になる

ひょうごe-県民アプリ

兵庫のお出かけ情報  
やローカルニュース、  
お得なサービス、同窓  
会や空き家情報など。



ふるさとで頑張ってる  
友達に会いたいな

そろそろ兵庫に  
住んでもいいかも……

# ひょうごの地域創生～どこよりも夢かなう兵庫へ～

## 兵庫県地域創生戦略とめざすべき姿

全国的な少子高齢化及び人口減少が進展するなか、兵庫県では、人口減少下においても地域が活力を維持し、県民が将来への希望を持てる社会を実現するため、「兵庫県地域創生戦略(2020～2024)」を策定。若者の県外流出拡大、出生数の減少加速、地域間格差の拡大といった課題解決に向けて、様々な施策を実施しています。

都市に近接する豊かな自然、地域に根付いている多彩な産業、歴史文化、五国の気候や風土が育む多様な食といった、他の地域にはない兵庫のポテンシャルを最大限に活かした取組を行い、兵庫で働きたい、ふるさとで子どもを育てたい、自然に囲まれ暮らしたいという夢や希望がかない、自分らしく活躍できる地域をつくっていきます。

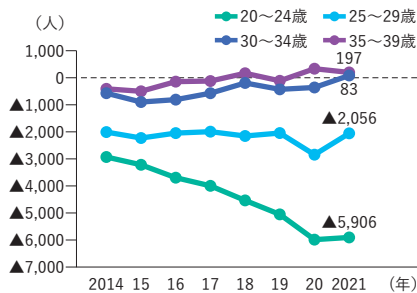


## 兵庫県の転出超過数の状況

20歳代の県外への転出超過が大きな課題ですが、その多くは新卒時の就職に伴う東京圏や大阪府への若者の転出です。

2021年は、20歳代、65歳以上以外は、転入超過となっています。コロナ禍前に比べ30歳代、40歳代の子育て層が転出超過から転入超過に転じ、その子ども世代の10代も増加、全体としても改善の傾向が現れています。

全国的にも東京都の転入超過数がコロナ禍前から約9割減の10,815人にまで減少するなど東京への一極集中にも変化ができています。



## 地方移住への関心の高まり

東京圏在住者の34.0%が地方移住に関心があるという調査結果が、2021年11月に内閣府から発表されました。23区内の20歳代に限ると49.1%と、約半数が地方移住に関心があると回答しています。コロナ禍におけるテレワークの普及などにより、働き方や住まい、暮らしに対する意識が変化しています。大都市から多自然まで個性豊かな地域がある兵庫県の魅力を活かして、地域創生を推進していきたいものです。

### ■地方移住への関心“あり”の回答者

	東京圏	東京都23区内
全年齢	34.0%	37.3%
20歳代	44.9%	49.1%

出典：2021年11月発表「第4回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」

# 「映える兵庫」に会いに来て！

## みんなの「兵庫愛」写真集

兵庫県の地域創生公式Instagramアカウント@love\_hyogoの投稿写真から、とっておきの映え写真をご紹介します。  
ほかにもたくさん掲載している@love\_hyogoもぜひ、のぞいてみてください。



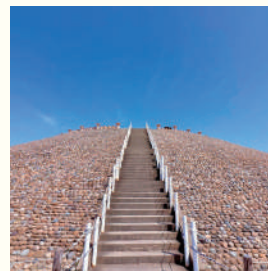
@yasuc.o



@butsuyoku2031



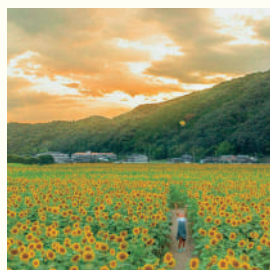
@iroilo.photo



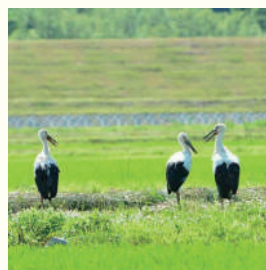
@hsaka2019



@kazu.223r



@gon\_taku



@azufazu\_mmm



@yamahiro36



@4clover703



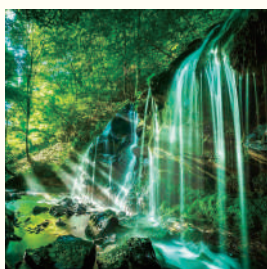
@kiyotora8455



@kenji\_tarusan



@bunzo\_photo



@takupocho



@photokinosaki



@living\_steel\_



@ritsuko\_369

投稿は



#lovehyogo

で、お待ちしております！

